

運営推進会議 議事録

開催日 平成 28 年 5 月 8 日 (月) 16 : 30 ~ 17 : 30

場 所 生活介護リハビリセンター吉田事業所 食堂・ホール

参加者 区長様 : 欠席 民生委員様 : 欠席
長野市 : 柳澤様 吉田包括支援センター : 平林様
利用者家族 : 欠席 知見者 : (株)ワンライフ 小林様
当事業所職員 : 北澤真吾 吉家悟司

次 第

1. 開会の挨拶
2. 出席者の紹介
3. 運営推進会議趣旨説明
4. 当事業所 事業報告
5. 当事業所の取り組み
6. 職員について

議 事

3. 運営推進会議趣旨説明

介護保険法上の地域密着型サービスの中に設置されている事となっています。

(1) 地域密着型サービスについて

高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるようにするために創設されたサービスであり、以下の類型があります。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

夜間対応型訪問介護

認知症対応型通所介護 (介護予防)

小規模多機能型居宅介護 (介護予防)

認知症対応型共同生活介護 (介護予防)

地域密着型特定施設入居者生活介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

看護小規模多機能型居宅介護

地域密着型通所介護 (平成 28 年 4 月から) ← 当事業所これにあたります。

(2) 地域密着型サービスになることによる変更点

地域密着型通所介護に移行する場合は、地域密着型サービスに位置付けられるため、より一層の地域との連携が求められることとなります。具体的には、今までの居宅サービスと比べ、以下の点が変更となります。

1. サービス利用者の制限
2. 運営推進会議の設置及び開催

4. 事業報告

28年度は下記の取り組みがありました。

平成 28 年 04 月 生活介護リハビリセンター吉田事業所・三輪事業所ともに
定員 18 名の増員

平成 29 年 03 月 住宅型有料老人ホーム事業・訪問介護事業を株式会社 ONE-LIFE
へ事業譲渡

平成 29 年 04 月 デイサービス生活介護リハビリセンター三輪事業所を
株式会社 ONE-LIFE へ事業譲渡

テーマ 『初心にかえる』

介護報酬改定が今後続き大幅な介護報酬の減少が予測出来た為、稼働率向上を最大の目標と
定めた。また、法人規模を縮小し『質の高いサービス』『キッチンとした運営』『面倒見のよいデイ』
を目指すとした。

新規利用者の獲得・スポット利用の依頼・現利用者の利用増加等を目指し、サービス内容の改善、
プログラムの充実化・多様化、職員の技術・ノウハウの獲得に努めた。

職員一人一人がご利用者様に「より良いサービスを提供する為にはどうすれば良いか」「どう
すれば楽しんで頂けるか」を考え、余暇活動等活動内容の充実化、業務改善、認知症リハビリに
努めてきました。その結果、新規利用者の獲得、現利用者の利用曜日の増加等稼働率向上におい
てはある程度の成果を出すことが出来たと思います。しかし、まだまだ改善しなければならない
点は多く、今後も「質の高いサービス」を提供し、新規利用者利用者の獲得、地元の利用者の
獲得を目指します。

5. 当事業所の取り組み

パンフレットなどの資料を基に説明

- ◆目標、問題点の把握しやすい定員(18名/日)
- ◆個別の入浴:午前・午後入浴を行っています。血圧・血糖に
心配がある方は、血圧・血糖が落ち着く、午後にゆっくり入浴
できます。
- ◆個別リハビリ:看護師が病状・身体の状態に応じて個別に実施
- ◆詳細な記録:リハビリ内容、バイタル、昼食の内容、水分量、
尿便回数など一日の活動内容・様子を細かく家族様に報告
させて頂いています。デイでの様子が分かりやすいと好評
頂いています。



長野保健福祉会
地域密着型デイサービス(定員18名)

生活介護リハビリセンター 吉田事業所

利用者様の問題点・目標が把握しやすい定員
家庭的で温かく、リラックスして過ごせる施設

通常リハビリ+生活動作リハビリ(個別対応)

通常のリハビリ(筋力・歩行・可動域・マッサージなど)に加え、その方が在宅で生活していくために必要な動作(トイレ・更衣など)、またケアプランにある目標達成に向けてのリハビリを行います。リハビリは看護師がその方の状態に合わせて個別に行います。

積極的な認知症リハビリ+個別の関わり

初期・中期の認知症の方を積極的に受入しています。大脳を刺激する作業療法、音楽、学習、集団運動、調理など認知症リハビリを実施します。予防リハビリも実施しています。週4～5日看護師2名配置。認知症が不安な方、お困りの方のサポートも目指します。



車椅子から歩行器へ
介護度3から1へ
トイレに行けるようになったなど少しずつ
成果もあがっています!



認知症の方の居場所となったり、以前より
穏やかになったりと、小さな変化がみられ
る方もあります!

個別の入浴(午前・午後) / 半日・リハビリ入浴のみなど短時間の方も大歓迎

営業: 9:00~16:00
月曜日~土曜日(祝日営業)
定員: 18名
特徴: 個別の入浴、個別のリハビリ
手厚い職員配置、
曜日により看護師2名配置

026-219-2037

〒381-0043 長野市吉田5丁目26-8 ナベヤコーポ1階
FAX: 026-219-2038 <http://www.nagano-hoken.com/>

ご家族様への連絡帳・・・詳細に記載し好評を頂いています。

サービス実施記録

_____様 利用日 平成 年 月 日 ()
 利用時間 午前 時 分 ~ 午後 時 分

◆健康状態

測定時間	:	体温	℃	脈拍	回	血圧	/	SPO2	%
------	---	----	---	----	---	----	---	------	---

◆食事摂取量

主食	/	10	副菜	/	10	副々菜	/	10	おやつ	有	無
----	---	----	----	---	----	-----	---	----	-----	---	---

◆入浴

有	無	入浴時間	:	◆パット状態	交換	枚
---	---	------	---	--------	----	---

◆個別機能訓練

<input type="checkbox"/>	計画通り実施	<input type="checkbox"/>	計画により実施しない日	<input type="checkbox"/>	実施なし	(分間)
--------------------------	--------	--------------------------	-------------	--------------------------	------	-------

目標に対する取組 :
リハビリのご様子 :
担当:

◆内服

有	無	時間	:	特記事項	:
---	---	----	---	------	---

◆排便・排尿

排尿	排便
----	----

◆水分摂取量

トータル

◆実施記録

入浴の状況 :	担当:
目標に対する取組 :	
1日のご様子 :	
	担当:
特記事項	

◆ご家族様記入欄 (健康状態・その他 お気づきの点がございましたら記入してください。)

きちんと各利用者様の目標を把握できるように、一覧にまとめその日の利用者様の目標を確認しサービスを提供している。また、事業所の記録・家族様への記録にも『目標に対する取組』記載欄を設け、記録に残している。

6. 職員について

離職率が高いと言われている介護業界ですが、当事業所が開所4年で自主退職者は1名（事業譲渡に伴う人事で譲渡先へ異動者は2名、運転手定年1名）と少なく、利用者様と継続的に関わっている。

曜日により看護師2名配置を行っているため、退院後の利用者様・認知症の利用者様を受け入れられ、急変時の対応も安心できる体制をとっている。

現在の職員配置

相談員	介護支援専門員	介護福祉士（パートを含め2名）
介護職員	介護福祉士3名（パート込）	ヘルパー2級1名
看護職員	准看護師3名（全員パート）	
運転職員	2名（全員パート）	

地域の皆様に安心して利用して頂けるよう、今後も離職率を低くし長くかかわれる体制、医療的知識に強い体制を維持していきたい。

7. 要望・助言

Q：ヒヤリハットの状況について教えてください

A：平成28年度は、転倒が3件ありました。当社のヒヤリハット用の紙は、再発防止策をやりっぱなしではなく、その後その再発防止策が有効かどうか検証をしています。

Q：目標を毎日確認できるようになっていたり、家族様も含めて記録に目標に対する取組が書かれていることはよいとみえます。

A：地味なことですが、1つ1つの事柄をきちんと実施し初心にかえることが今年度のテーマなので目立つことや大きなことは小さな事業所なのでできませんが、コツコツきちんとやることで、利用者様獲得につながると信じています。

Q：利用者様の利用状況は

A：月間の利用者数は30～40名 介護度1が43% 介護度2が21%と大多数を占めている。地元の吉田地区の利用者は少ない。古里・若槻エリアが一番多い。もっと吉田包括と連携したい。

Q：研修について

A：年間計画に沿って毎月カンファレンス内で実施している。4月は『デイサービスの基準』について実施した。現場で働く職員が意外に、地域密着型になって何が変わるのか。細かい設備基準な

どを知らないので、デイサービスの目的から基準までを研修した。5月は当社の強みである認知症の予防リハビリについて研修を行う予定です。

Q：運営推進会議が正直どんな内容を行い、どう生かしていくのかまだ見えない（当社から）

A：本日のような事業内容の報告などでよいと思います。まずは地域とのコミュニケーションをとる場があり、地域にある資源を知ってもらい、活用・連携につなげることが必要

Q：地域の方の参加がなかった。（当社から）

A：最近、区長や民生委員が変わり、まだこの会議について浸透していない。また開催時間など事前に打ち合わせしてから開催するとよいのではないかと。

次回は9月または10月の秋開催を予定しています。
